

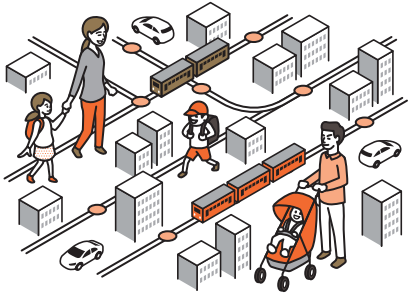


このまちのこどもたちに 尼崎市ができること

妊娠から大人になるまで。尼崎には子育てにまつわるおカネのこと、時間のゆとり、安心をサポートするメニューがたくさん。「働く」も「子育て」も応援します。

まちのこと

まちじゅうが駅だらけ



市内に13駅もあって、まちじゅうが駅だらけ。阪急、JR、阪神の3路線からアクセスがえらべて大阪・神戸への通勤通学も便利です。

「住んでよかった」という満足度91%

市民意識調査によると91%の市民が「住んでよかった」と回答。日々の暮らしのなかで実感してほしい。

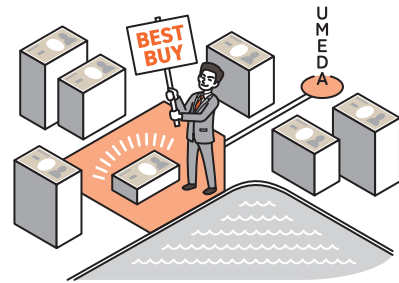
子どもと行ける公園があちこちに

面積あたりの公園の数は阪神間で惜しくも第2位。ちゃぷちゃぷ水遊びができる元浜緑地や大芝生広場のある尼崎の森中央緑地など、子どもがおもいきり楽しめる個性的な公園も多数。

尼崎は買い物天国

駅前にはショッピングモールや昔ながらの商店街。スーパーも多数あって、お店の数（小売店・飲食店ともに）は阪神間で堂々のナンバーワン。まさに買い物天国なのです。

便利なのに安いんです



どの駅も大阪梅田まで5~16分。とっても便利なのに実は土地の値段はまわりの市よりも手ごろなのが魅力です。

学校数も病院数もナンバーワン

面積あたりの公立の小・中学校、高校の数は阪神間でナンバーワン。保育所は民間もふくめて第1位。病院や診療所、体育館も堂々のトップ。便利がつまったコンパクトシティ！

「治安が悪い」って本当なの？

街頭犯罪の認知件数はこの10年でなんと6割も減っているんです。かつてのイメージが強烈だったのかもしれませんが、まちを歩いてみればきっとわかるはず。

チャリとバスでどこへでも

充実のバス路線はスマホで検索すれば、市内の北から南までかんたんアクセス。全域が平地で、最も高いところでも標高約17mなので自転車でどこまでもいけちゃう。シェアサイクルのポートもあちこちに。

親子で参加できるイベントがたくさん

市内各地で講座やお祭りなどいろいろなイベントが開催されています。毎月発行の広報誌でもお知らせしています。

市内全域で「歩きたばこ」はダメなんです

子どもにとっても大人にとっても迷惑な「歩きたばこ」を、条例で市内全域禁止しています。令和7年4月には市内の全駅で周辺の「路上喫煙」を禁止、違反者への過料の徴収もスタートし、受動喫煙を防ぎます。

おカネのこと

未就学児は医療費ゼロ。 入院費は高校生まですべてゼロ



未就学児の医療費はかかりません。小中学生の通院は400円か800円ですみます（所得によってはゼロ）。入院費用の負担は、高校卒業までずっとゼロ。

阪神間でもほぼ最安の保育料

保育料は所得に応じて決まりますが、多くの家庭で阪神間の他都市より低くなっています。

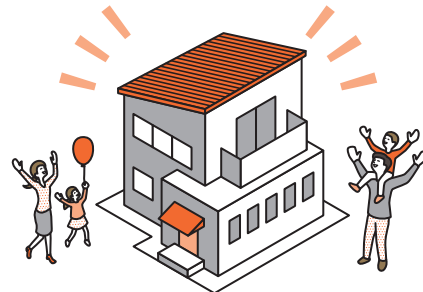
出産や子育ての費用もサポート

出産育児グッズを買ったり、子育てサービスを受けたりする費用を出産・子育て応援給付金でサポート。

妊産婦さんの健診費用もサポート

元気な赤ちゃんを出産して子育てするために、妊婦健診は14回（多胎の場合は20回）、産婦健診は2回まで助成します。

家を買う人に最大200万円のサポート



新築なら最大200万円、中古なら最大60万円。尼崎で戸建てのおうちを建てたり買ったりするファミリーに取得費用を抽選でサポートします（特定区域のみ）。賃貸なら県外からのお引越で、25万円を先着で補助。

不妊に悩む人をサポート

医療保険が適用されない夫婦がそろって行う不妊症検査の7割を助成しています。さらに不妊症では検査費の7割、治療費の5割をサポートします。

あずける

待機児童ゼロまであと少し



尼崎市はこの数年で保育園などの数を増やし、待機児童数は11人まで減っています（国基準による算定数、令和6年4月現在）。保育施設の数はいずれも150を超えています。

保育料は2人目半額、3人目は無料に。

2人以上の子どもがいるご家庭では、保育料が2人目は半額、3人目が無料に。病気やけがで長期欠席する場合、次の月の保育料が半額になるなど保育料の負担が軽くなります。

放課後も学校で過ごせる「こどもクラブ」

だれでも自由に参加できる放課後の“こどもの居場所”、すべての市立小学校でやってます。遊びや自主学習、タブレット学習などで夕方5時まで過ごせます。

学童保育は夜7時まで



放課後等の生活の場としてすべての市立小学校に「児童ホーム」がオープン。Wi-Fi環境もあるので遊びや自主学習にとっても便利。開所時間は平日は夜7時まで。フルタイム勤務でも子どものお迎えにまにあいます。

子どもの送迎や預かりをサポート



朝7時から夜9時まで、子どもの送迎や預かりなどをしてもらえる「ファミリーサポート」。サポートして欲しい人としても登録する仕組みがあります。

保育所・保育園で一時預かりもできる

仕事や介護など昼間に家で子どもを見れなくなった時には、公立保育所や法人保育施設などが一時預かりします。

病児のお子さん預かります

病気やその回復期といった家庭や集団での保育が困難な時に、小学校6年生までの子どもを一時的にお預かりします。

エリアごとに子育て交流スペース



おおむね4歳未満の子どもと親があそんだり情報交換できる場所「つどいの広場」がエリアごとにあります。相談できるアドバイザーがいて、講座やイベントもひらかれています。

乳幼児期に4回の無料健診

乳幼児のたいせつな時期に（4か月、9～10か月、1歳6か月、3歳6か月）に4回の健康診査を実施しています。

こんにちは！赤ちゃん訪問

生まれて2か月頃の赤ちゃんのいる全てのご家庭に保育士が家庭訪問します。子育てのようすや困りごとの相談を聞き、お役立ち情報をおとどけします。

産前産後にヘルパーさんを派遣します

産前産後の体調不良などで家事や育児がむずかしいご家庭には、ヘルパーを派遣。最大40時間（多胎の場合は1人につき40時間）まで日常的な家事や育児のお手伝いをします。

エリア専属の保健師さんがいます



南北保健福祉センターでは、お住まいの地区ごとの担当保健師が、妊娠～出産～子育て期に渡る、切れ目のない支援をしています。また、マタニティセミナーや乳幼児健診なども行っています。

急な病気やけが。深夜早朝も電話でサポート

子どもの急な病気、けがで「どうしたらいい？」とまずは相談できるダイヤルが深夜から早朝にも対応してくれます。休日や夜間に診てもらえる診療所もあります。

こどものことならなんでも相談

子育て、ママ友、預け先…就学前の子どもにまつわるいろんな悩みを市役所の「こどもなんでも相談」や市立保育所で相談できます。医師や心理師などの専門家が子どもや家庭によりそう施設「いくしあ」も。

「すこやかプラザ」で子育てする人を元気に

乳幼児のあそび場から子育ての相談、一時預かり、お役立ち講座まで、子育て支援施設「すこやかプラザ」がサポート。

学校のこと

実は学力が上がっています



ここ数年の学力調査で小学校、中学校ともに全国平均レベルに並んでいます。

おいしい給食ひろがっています

「おいしい」と評判の小学校給食にくわえて、中学校、夜間中学校、特別支援学校などでも学校給食を実施しています。中学校給食のアンケートでは、生徒の7割以上に「おいしい」と評判です。

ひとり1台タブレット。授業だってアップデート

市立の小・中学校に通う全児童・生徒にタブレットがひとり1台貸し出されます。端末上の学習支援ドリルで、一人ひとりにあわせたきめ細やかな個別指導・個別支援。小学校は黒板だって電子黒板なんです。

学校が近くて安心

市内に公立の小学校は41校、中学校は17校あります。コンパクトなまちにたくさんの学校があって安心です。

学校には空調を完備

小・中学校や高校などの教室には、空調が完備されています。暑い日も寒い日も快適に過ごせます。